

会 議 録

1 会議名

令和5年度第4回大島区地域協議会

2 議題（公開）

1 報 告

(1) 上越魚沼地域振興快速道路（安塚－松代間）に係る事業説明会について

2 協 議

(1) 諮問 諮問第111号 上越市過疎地域持続的発展計画変更（案）について

(2) 視察研修について

(3) 地域活性化の方向性について

3 その他

(1) 令和5年度第5回地域協議会の開催日について

3 開催日時

令和5年7月24日（月）午後2時から3時45分まで

4 開催場所

大島就業改善センター 3階 大会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委 員：丸田新一（会長）、武田昌午（副会長）、飯田敏郎、内山元栄、中村朝彦、山岸久雄、吉野健治

・事務局：大島区総合事務所 岩野所長、岩野次長、武田市民生活・福祉グループ兼教育・文化グループ長、総務・地域振興グループ 篠原主任

・上越地域振興局 地域整備部 計画調整課 得間課長、金子計画専門員

・浦川原区総合事務所：竹田次長

・道路課：計画係 田中係長

8 発言の内容

【丸田会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・挨拶
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。
- ・本日の会議録の確認は、委員番号3番の飯田敏郎委員にお願いする。
- ・報告事項（1）上越魚沼地域振興快速道路（安塚－松代間）に係る事業説明会について、地域振興局に説明を求める。

【地域振興局 金子計画専門員】

- ・国道253号上越魚沼地域振興快速道路（以下、上沼道）において、上越市安塚から十日町市松代間の整備方針の検討を進めているところである。
- ・上沼道は、安塚ICから十日町市北鐙坂を除く区間が、供用済み、または整備区間に指定されている。
- ・残る安塚ICから十日町市北鐙坂間のうち、現道に小曲線や急勾配、防災上の課題を抱える安塚ICから松代間の整備方針を検討している。
- ・県では、国道403号付近を通過し、安塚ICから松代間を短く結ぶ経路（以下、A案）と国道253号付近を通過し、現道にアクセスしやすい経路（以下、B案）の2つの案を考えている。
- ・A案は、走行性や安全性を考慮し、最短で結んだ経路であり、良い点としては、「カーブが少なく緩やかなため、安全に走行できる」、「延長が短く速達性に優れる」ことが挙げられる。
- ・悪い点としては、「国道253号から離れているため、沿線からのアクセス性に劣る」、「難工事が予想される須川層泥岩を通過する区間が長く、開通の遅れが懸念される」ことが挙げられる。
- ・一方、B案の良い点としては、「国道253号に接続できる箇所が多く、沿線からのアクセス性に優れ、部分的・段階的に早く供用できる」ことが挙げられる。
- ・悪い点としては、「現道付近を通過することで、騒音など家屋への影響が懸念される」、「A案と比較して経路が長くなる」ことが挙げられる。
- ・県では整備方針の策定に向けて、当日配布資料のとおり、地域住民への事業説明会

を開催したいと考えている。浦川原区と安塚区では9月に、大島区では10月上旬に開催を予定しており、広報上越9月号（8月25日発行）と併せて全世帯に案内文を配布する予定である。なお、事前申込みは不要なため、どの会場でも参加いただける。

- ・また、事業説明会とは別に、地域の皆さんの意見を聞くため、アンケート調査の準備をしている。現在、広報上越10月号（9月25日発行）に併せて、アンケート用紙を配布する予定である。なお、紙媒体だけでなく、インターネット等でも回答できるよう準備を進めている。
- ・アンケートの内容は、地域住民が、上沼道の整備において重要視するものは何かを聞くようなものと考えている。

【丸田会長】

- ・アンケート用紙に、今ほど説明いただいた案の経路図等は記載されているのか。

【地域振興局 金子計画専門員】

- ・アンケート調査の前の事業説明会のご案内の時点で、経路図を含めた案内文を全戸配布する予定である。
- ・補足説明となるが、アンケートの内容は、A案とB案どちらがよいかを聞くものではない。例えば、「降雪時の安全性を重視するか」など、地域住民が重要視する項目について聞く予定である。

【吉野委員】

- ・今ほど説明いただいた中で、A案の良い点として、「延長が短く速達性に優れる」という表現があったが、少しわかりにくいように感じる。資料として出される際には、もっとわかりやすい表現にしていきたい。
- ・また、工事にかかる費用も大きな判断材料になると思う。事業説明会の際には、詳細を示していただけるのか。

【地域振興局 金子計画専門員】

- ・「延長が短く速達性に優れる」との表現について、ご指摘のとおり、わかりにくい表現であったと感じる。簡単に説明すると、「近くて速い」となる。事業説明会の際には、わかりやすい言葉で説明させていただく。
- ・また、先ほど、A案の悪い点として、須川層泥岩を通過する区間について難工事が予想されると説明したが、須川層は膨張性の泥岩であり、ほくほく線の工事の際

は、機械が掘った分だけ押し戻されるような状態で、全世界でも有数の難工事であったと聞いている。B案の方についても、全く通らないというわけではないが、A案の方が、影響が大きいと予想される。

- ・ご質問の回答としては、須川層に係る部分について、かなりの事業費となることが予想されるが、現時点では概算もできておらず、事業説明会の時点で具体的な金額までお示しできないかと思われる。

【丸田会長】

- ・他に質疑を求めるもなし。

(得間課長、金子計画専門員、竹田次長、田中係長 退出)

- ・協議事項（1）諮問 諮問第111号 上越市過疎地域持続的発展計画変更（案）について、事務局に説明を求める。

【岩野次長】

- ・資料No.1～3、参考資料に沿って説明。

【丸田会長】

- ・協議事項（1）について、質疑を求めるもなし。
- ・上越市過疎地域持続的発展計画変更（案）について、次回の地域協議会で協議し、答申する。
- ・協議事項（2）視察研修について、事務局に説明を求める。

【岩野次長】

- ・前回に引き続き、視察研修先について、協議をお願いします。
- ・前は、視察の目的や方向性を協議していく中で、地域活動の活発な場所へ行くことを目的とするなど、色々と意見が出されたところであるが、皆さんの方でそれらを整理し、次回協議するということとなった。これらを踏まえた上で、協議していただきたい。
- ・なお、今回もプロジェクターを使い、皆さんの意見をスクリーンに表示させていただく。これにより、視覚的に理解しやすくなると考えているため、ご了承いただきたい。

【丸田会長】

- ・今ほど事務局から説明があった。前回の協議会では、視察を行うことまで決定したが、具体的な視察先や目的については、次回の協議会までに、各委員が案を考えて

くることで、同意していただいていた。

- ・なお、丸田（松）委員が欠席するにあたり、事前に案を考えてきたためお伝えする。
- ・丸田（松）委員の案は、長岡市山古志の山古志闘牛場を視察し、運営責任者や関係者と、様々な視点で意見交換を図るというものであった。
- ・では、「目的」や「視察先」などについて、武田副会長から順に発言をお願いします。

【武田副会長】

- ・現在、高齢者であっても、農業等の仕事をしている人が増えてきており、地域活動の維持が困難になってきている。
- ・そうした背景から、安塚区坊金、十日町市儀明へ行き、町内会がどのような取組をしているか視察に行くのがよいと考える。道普請や、冬の除雪、行事などを視察し、大島区へ活用できればと思う。

【中村委員】

- ・丸田（松）委員の提案がよいと思う。

【岩野次長】

- ・丸田会長に発言の許可を求める。

【丸田会長】

- ・発言を許可する。

【岩野次長】

- ・補足説明となるが、前回協議会で、丸田（松）委員から発言のあった例年の大浦安の合同研修について、今年度は、11月10日（金）に開催することが決定したためご連絡する。
- ・なお、内容については、現在検討している段階である。視察の時期を協議する上で、参考にさせていただきたい。

【丸田会長】

- ・承知した。
- ・引き続き、山岸委員から再開する。

【山岸委員】

- ・私としては、群馬県甘楽郡甘楽町のこんにやくパークを考えてきたが、丸田（松）

委員の提案を聞いて、そちらへ視察に行くのがよいと感じた。

【吉野委員】

- ・前回協議会で申し述べたとおり、十日町市のごみの最終処分場へ視察に行くのがよいと考える。

【飯田（敏）委員】

- ・十日町市の池谷集落の視察がよいと考える。地域おこし協力隊の活動により、移住者が多くなっている集落であり、ここへの視察は地域活性化の起爆剤になると思う。
- ・多田さんという人が、限界集落から元気なまちへ変えていったと聞いている。そういったところで話を聞き、大島区の地域活性化へつなげていけたらよいと考える。

【内山（元）委員】

- ・地域活性化を考えていく中で、まずは地域の現状把握をすることが必要だと考える。
- ・そのため、大島区や浦川原、安塚区の視察もよいと思う。具体的には、菖蒲飯田邸、板山不動尊など、地域の現状把握のための視察を提案する。

【丸田会長】

- ・地域活性化について、今後議論していく必要があるわけだが、活性化の形は、その人その地域で、異なるものと考えている。そのため、地域として盛り上がっている場所を視察し、方法や考え方を学んでくるのがよいと考えている。
- ・今ほど、委員の皆さんから、意見を出していただいた中で、丸田（松）委員の案である長岡市山古志がよいという意見が多くあった。
- ・今回の視察研修先として、長岡市山古志がよいのではないかと思うがどうか。

【吉野委員】

- ・長岡市山古志では、中越地震の復興関係の資料館や、錦鯉など有名なものもあるため、私も良いと考える。

【丸田会長】

- ・それでは、視察研修先については長岡市山古志とし、時期については、11月に大浦安の合同研修があることを踏まえ、10月頃の予定とする。ただし、相手方の都合もあるため、そのあたりの情報収集は事務局に依頼したいがどうか。

【岩野次長】

- ・丸田会長からの申し出のとおり、こちらの方で情報収集をさせていただき、皆さんへお示しさせていただく。

【丸田会長】

- ・それでは、視察研修について、10月頃、長岡市山古志へ行くこととし、詳細な時期については、情報収集の上、決定するという事でよいか。

(「はい」の声)

- ・前述のとおりで決定とする。
- ・協議事項(3)地域活性化の方向性について、事務局に説明を求める。

【岩野次長】

- ・資料No.4に沿って説明。
- ・今回は、資料No.4やこれまで行ってきた協議内容をもとに、大島区の地域活性化の方向性についての構成要素を決定していただきたい。
- ・具体的な方法について説明する。まず、座席テーブルごとにグループを作り、構成要素(案)を作成する。その後、グループから発表していただき、最後に全体協議にて、構成要素を決定していくという流れでお願いしたい。
- ・時間配分の目安として、グループワーク20分、発表3分とし、その後、全体協議とさせていただきます。

【丸田会長】

- ・事務局の説明のとおり、グループワークを行う。
- ・Aグループは、私、武田昌午副会長、飯田敏郎委員、内山元栄委員、Bグループは、中村朝彦委員、吉野健治委員、山岸久雄委員とする。
- ・グループワークは午後3時10分を目途とし、その後発表とする。

(グループワーク)

【丸田会長】

- ・会議を再開する。
- ・Aグループから順に発表を求める。
- ・Aグループで協議した結果、構成要素として、「安心、安全な付加価値の高い米づくりの推進」、「伝統行事を継続させる取組」、「自然豊かな里山風景を守る」の3つの案が出た。

【吉野委員】

- ・Bグループで協議した結果、構成要素として、「豊かな自然を活かしたイベントの工夫」、「生活実態に見合った安心、安全な暮らしの推進」、「米や山菜を活用した特産品

の売り込み」、「女性が参入しやすい環境づくり」の4つの案が出た。

【丸田会長】

- ・これらの意見をもとに、構成要素を協議する。
- ・委員に意見を求める。

【山岸委員】

- ・地域の活動に女性の参加が少ない現状において、今後、多様な意見を取り入れていく必要があることから、Bグループの案の「女性が参入しやすい環境づくり」を構成要素に入れるべきだと思う。

【吉野委員】

- ・「女性が参入しやすい環境づくり」を構成要素とした理由の中には、伝統行事を継続させるためのメンバーの確保という面もある。女性が参入しやすい環境を整えることで、伝統行事の継続につながるのではないかなと思う。
- ・「自然豊かな里山風景を守る」と「豊かな自然を活かしたイベントの工夫」は似ているため、まとめてよいと考える。
- ・「安心、安全な付加価値の高い米づくりの推進」、「米や山菜を活用した特産品の売り込み」は似ていると思う。また、「安心、安全な」という文言は、「付加価値の高い」という文言の意味合いが含まれているように感じるため、つけなくてもよいのではないかな。

【丸田会長】

- ・吉野委員の発言のとおり、意味合いが重なっているものがあると感じる。委員の皆さんの意見を取り入れ、構成要素を「豊かな自然を活かしたイベントの工夫」、「生活実態に見合った安心、安全な暮らしの推進」、「米や山菜を活用した特産品の売り込み」、「女性が参入しやすい環境づくり」、「伝統行事を継続させる取組」の5つとしたいがよいかな。

(「はい」の声)

- ・前述のとおり構成要素で決定とする。
- ・次に、地域活性化の方向性のスローガンについて、前回の協議会では、構成要素を決めていく中で、適宜見直していくとの方針であった。今ほど、構成要素が決まったが、スローガンについて、見直し等の意見はあるか。

(特になし)

- ・地域活性化の方向性のスローガンについて、修正なしということでよいか。

(「はい」の声)

- ・事務局に内容の確認を求める。

【岩野次長】

- ・構成要素の「女性が参入しやすい環境づくり」について、山岸委員の発言のとおり、今後多様な意見を取り入れるため、女性の参加を推進するということは、重要なことであると思う。
- ・しかしながら、女性だけに限定すると、人によっては、なぜ女性だけと感じる人がいるかもしれない。確かに、地域の活動において、女性の力は必要であるが、他にも若者の力なども必要だと考えている。
- ・女性や若者という方法もあるし、男女や若者などに限定せずに、「誰もが参入しやすい」という文言にするのも選択肢としてあると思う。その部分について、再度確認していただきたい。

【丸田会長】

- ・事務局からの提案について、委員に意見を求める。

【吉野委員】

- ・事務局の意見を取り入れ、「女性や若者など誰もが参入しやすい環境づくり」とするのがよいと思う。

【丸田会長】

- ・吉野委員の発言のとおり、構成要素を修正することとしてよいか。

(「はい」の声)

- ・事務局に内容の確認を求める。

【岩野次長】

- ・地域活性化の方向性のスローガンを「大島区の豊かな自然、地域性を活かした住みやすいまちづくりを目指します」とし、構成要素を「豊かな自然を活かしたイベントの工夫」、「生活実態に見合った安心、安全な暮らしの推進」、「米や山菜を活用した特産品の売り込み」、「女性や若者など誰もが参入しやすい環境づくり」、「伝統行事を継続させる取組」とすることで承った。

【丸田会長】

- ・その他事項（１）令和５年度第５回地域協議会の開催日について、８月３０日（水）

午後2時から大島就業改善センターで開催することとしてよいか。

(「はい」の声)

- ・ほかに質疑を求めるもなし。
- ・それでは、以上をもって第4回地域協議会を閉会する。

9 問合せ先

大島区総合事務所総務・地域振興グループ TEL：025-594-3101（内線61）

E-mail：oshima-ku@city.joetsu.lg.jp